

答 障害者の利用にも配慮しつつ、ドームは各種スポーツ、演劇、ファッションショー等に、広場はX₂スポーツを中心にコンサート、フリーマーケット等に活用したい。市民に知名度を広めることで定着させ、わが国の主流スポーツとするため、専門的集団として職員八名で構成するプロジェクトチームを発足させたところだ。

職員表彰を実施

問 超過勤務手当の過大支給問題など市職員全体の姿勢が問われているが、職員の意識高揚に向けた取り組みは。

答 問題があれば厳正な対応をする一方で、自分たちの成果を共に喜び合えるような職場関係を築くため、人命救助等の善行表彰に加え、市民の立場に立つて一生懸命働いた職員や職場を表彰する制度を平成12年末から実施したい。

登録保育園制度創設へ

問 平成13年度末の保育園待機児童解消に向けた今後の取り組みは。

答 これまでの取り組みの結果、待機児童は減少したが、まだ百人以上いる。このため、13

年度では、施設整備による二百十人の定員増に加え、認可外保育園の情報提供等を行う登録保育園制度の運用を始める予定にしている。

政和会

国体開催に向け

岡山駅西口の整備を

問 本市の顔として、岡山駅西口を駅元町再開発事業第二工区と一体的に整備しては。

答 バス協会などから高速バス等のバスの増設などターミナル機能強化の要望が出ていることから、東口との機能分担を図り、再開発事業の中で都市基盤整備を行いたい。駅舎については、国体が開催される平成17



機能強化の期待が高まる岡山駅西口

年を念頭に、東西連絡デッキ等の整備をJRに正式要請している。

市外郭団体の見直しを

問 公園協会など市の外郭団体の業務内容を、市民に分かりやすい形に見直ししては。

答 目標管理ができていないか、市民に分かりやすいかなど行政面全体から総点検を行い、総合的な方策や目標づくりを進める時期に来ていると認識している。このため、平成13年度に関連団体の総点検を実施したい。

国体ボランティア

活躍の場は

問 岡山国体でのボランティアの募集人数や活動内容は。

答 先催都市では、七、八千人から一万人が、駅や競技会場での選手・観客等の案内、休憩所での接待、美化・清掃、駐車場でのご案内、誘導

などに当たっている。今後、こうした例を参考に、さらに市民の活躍できる場を考えていきたい。

長期未利用地

国制度の活用で解消へ

問 国の制度を活用し、土地開発公社が五年以上保有している長期保有土地の解消を図っては。

答 国の指定を受けるため、平成11年度末現在で簿価総額三百五十億円、長期保有土地を、五年後には約二百九億円以下とすることなどを目標とした経営健全化計画書を作成し、13年3月に県経由で国に提出したいと考えており、現在関係局間で内容の調整を行っている。

共産党

乳幼児医療費の

入院時自己負担廃止を

問 乳幼児医療費の入院時一カ月千円の自己負担廃止を。

答 若い勤労者の増加による活性化を目指す本市にとって、現行の制度は周辺市町村との競争という面で大きな問題があり、市民負担に比べて市の収入としては少ないことから、検討して

いくべきと考えている。

市民ギャラリーの存続を

問 天満屋「地下市民ギャラリー」存続の見直しは。



多くの市民に親しまれた地下市民ギャラリー

答 現在継続を前提に天満屋と協議を行っており、平成13年春には再開してもらえると考えている。

公民館に

正規専門職員の配置を

問 公民館検討委員会から、職員の正規・専門化の答申が出されたが、今後の対応は。

答 公民館は生涯学習の場であり、まちづくりの拠点でもある。資格を持った正規職員の配置は重要と考え、現行の嘱託職員も含めた制度の確立に向け、具体的手法を検討していきたい。